

## Web アンケート調査票（教員用）

### 問1 あなた自身のことについてお聞きします。

問1-1 あなたのお勤めの学校を教えてください。（1つ選択）

- |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 上尾小学校   | 2. 中央小学校   | 3. 大谷小学校   | 4. 平方小学校   |
| 5. 大石小学校   | 6. 原市小学校   | 7. 上平小学校   | 8. 富士見小学校  |
| 9. 尾山台小学校  | 10. 東小学校   | 11. 大石南小学校 | 12. 平方東小学校 |
| 13. 原市南小学校 | 14. 鴨川小学校  | 15. 芝川小学校  | 16. 瓦葺小学校  |
| 17. 今泉小学校  | 18. 西小学校   | 19. 東町小学校  | 20. 平方北小学校 |
| 21. 大石北小学校 | 22. 上平北小学校 | 23. 上尾中学校  | 24. 太平中学校  |
| 25. 大石中学校  | 26. 原市中学校  | 27. 上平中学校  | 28. 西中学校   |
| 29. 東中学校   | 30. 大石南中学校 | 31. 瓦葺中学校  | 32. 南中学校   |
| 33. 大谷中学校  |            |            |            |

### 問2 小中学校の教育環境についてお聞きします。

問2-1 学校で児童生徒に身に付けさせたいことについて、特に大事であると思うことはどれですか。（3つまで選択可）

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. 基礎的な知識・技能 | 2. 協働性・協調性     |
| 3. 思考力・判断力   | 4. 社会性         |
| 5. 思いやり・共感力  | 6. 表現力・説明力     |
| 7. 主体性       | 8. 責任感         |
| 9. 体力        | 10. その他（_____） |

問2-2 勤務する学校において、特に大事であると思うことはどれですか。（3つまで選択可）

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 特色のある授業に取り組んでいる  | 2. 時代に合った教育を実践している |
| 3. 教員育成が図られている      | 4. 学校の児童生徒が少ない     |
| 5. クラス替えができる学校規模である | 6. 地域の人とのつながりがある   |
| 7. 学校が新しく設備が整っている   | 8. クラブ・部活動が活発である   |
| 9. その他（_____）       |                    |

問2-3 学校施設について、特に大事であると思うことはどれですか。（2つまで選択可）

- |                                 |                 |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 安全・安心な施設である                  | 2. 施設がきれいである    |
| 3. 空調等が行き届き快適である                | 4. バリアフリー化されている |
| 5. 地球温暖化など環境に配慮された施設となっている      |                 |
| 6. 教育の変化に対応する柔軟性・可変性のある施設となっている |                 |
| 7. その他（_____）                   |                 |

## Web アンケート調査票（教員用）

問2－4 学校の教室に関連することで、特に必要と思うことはどれですか。  
(3つまで選択可)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 黒板や大型モニターの見やすさ | 2. 学習機の大きさ         |
| 3. ロッカーの広さ        | 4. 掲示物を貼るスペース      |
| 5. ゆとりのある教室       | 6. 木材を使用した温かみのある教室 |
| 7. 個別指導がしやすいスペース  | 8. 学年が交流できるスペース    |
| 9. 自主学习もできる図書室    | 10. その他 ( _____ )  |

問2－5 文部科学省は、令和4年3月に「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」を示しました。将来の学校づくりの考え方として、特に重要であると思うことはどれですか。(3つまで選択可)

※ 参考資料が参照できます。

1. 1人1台端末環境等に対応したゆとりある教室の整備
2. 多目的スペースの活用による多様な学習活動への柔軟な対応
3. ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用
4. 様々な教室等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開
5. 読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館の整備
6. 設備や家具の工夫による多様な学習活動の展開・教室環境の充実
7. 学校における働き方改革を推進し、パフォーマンスを最大化するための執務空間
8. 9年間を見通した義務教育を支える施設環境
9. 快適で温かみのあるリビング空間
10. 健やかな衛生的な環境の整備
11. 学校と地域が支え合い協働していくための共創空間
12. 多様な「知」を集積するための複合化・共用化等

## 問3 小中学校の学校の規模についてお聞きします。

※ 小学校の教員の方へ向けた質問と、中学校の教員の方へ向けた質問がありますので、該当するものにご回答をお願いします。

### 小学校の教員の方

問3－1 通常学級の担任の先生にお聞きします。  
担当している学年のクラスの数を教えてください。(1つ選択)

1. 1クラス    2. 2クラス    3. 3クラス    4. 4クラス    5. 5クラス

## Web アンケート調査票（教員用）

問3-2 小学校では、1学年あたりのクラスの数ほどの程度が適切であると思いますか。  
参考資料2、3ページをご覧ください。（1つ選択）

※ 国の法律では、1学年2～3クラスが学級数の標準と定められています。

1. 1クラス    2. 2クラス    3. 3クラス    4. 4クラス    5. 5クラス以上

問3-3 「問3-2」で回答した理由に近いものはどれですか。（3つまで選択可）

1. 全学年の児童と交流させやすい                      2. 深い交友関係の構築を期待できる  
3. 個々の活躍の場が増える                              4. 教員の目が行き届きやすい  
5. 体育館など余裕をもって使うことができる  
6. 学校・地域・保護者が一体となった活動がしやすい  
7. 広い交友関係の構築を期待できる                      8. クラス替えがあり人間関係が固定化しない  
9. 多数の先生と関わりがしやすい                      10. クラブ活動や委員会等の選択肢が多い  
11. 児童だけでも大規模な学校行事が行える  
12. 多様な意見に触れさせることができる  
13. その他（ \_\_\_\_\_ ）

## 中学校の教員の方

問3-4 学級担任、学年主任、副担任の先生にお聞きします。

担当している学年のクラス数を教えてください。（1つ選択）

1. 1クラス              2. 2クラス              3. 3クラス              4. 4クラス  
5. 5クラス              6. 6クラス              7. 7クラス              8. 8クラス

問3-5 中学校では、1学年あたりのクラスの数ほどの程度が適切であると思いますか。  
参考資料2、3ページをご覧ください。（1つ選択）

※ 国の法律では、1学年4～6クラスが学級数の標準と定められています。

1. 1クラス              2. 2クラス              3. 3クラス              4. 4クラス  
5. 5クラス              6. 6クラス              7. 7クラス以上

## Web アンケート調査票（教員用）

問3－6 「問3－5」で回答した理由に近いものはどれですか。（3つまで選択可）

1. 全学年の生徒と交流させやすい
2. 深い交友関係の構築を期待できる
3. 個々の活躍の場が増える
4. 教員の目が行き届きやすい
5. 体育館など余裕をもって使うことができる
6. 学校・地域・保護者が一体となった活動がしやすい
7. 広い交友関係の構築を期待できる
8. クラス替えがあり人間関係が固定化しない
9. 多数の先生と関わりがしやすい
10. 部活動や委員会等の選択肢が多い
11. 生徒だけでも大規模な学校行事が行える
12. 多様な意見に触れさせることができる
13. その他（ \_\_\_\_\_ ）

### 問4 小中学生の通学する距離（徒歩時間）と方法についてお聞きします。

問4－1 小学生の片道の通学距離で、徒歩で通える上限はどの程度が適切であると思いますか。（1つ選択）

※ カッコ内の時間は徒歩時間の目安です。

時間算出に用いた時速は、文献を参照し、3.55km/hとしています。

1. 1.0 k m以内（17分程度）
2. 1.5 k m以内（25分程度）
3. 2.0 k m以内（34分程度）
4. 2.5 k m以内（42分程度）
5. 3.0 k m以内（51分程度）
5. その他（ \_\_\_\_\_ k m以内）

問4－2 中学生の片道の通学距離で、徒歩で通える上限はどの程度が適切であると思いますか。（1つ選択）

※ カッコ内の時間は徒歩時間の目安です。

時間算出に用いた時速は、文献を参照し、3.99km/hとしています。

1. 1.0 k m以内（15分程度）
2. 1.5 k m以内（23分程度）
3. 2.0 k m以内（30分程度）
4. 2.5 k m以内（37分程度）
5. 3.0 k m以内（45分程度）
6. 4.0 k m以内（60分程度）
7. その他（ \_\_\_\_\_ k m以内）

## Web アンケート調査票（教員用）

### 問5 小中一貫教育についてお聞きします。

本市では、小学校から中学校への進学の際に、円滑な接続ができるよう、中学校区の児童生徒の交流や教職員による小中学校合同研修会を実施するなど、「小中連携」の取組を推進しております。

「小中一貫教育」とは、これまでの「小中連携」の取組を深化させ、小中学校が目指すべき児童生徒像を共有し、例えば学習指導や生徒指導において、小中学校が同じ方針で取り組むなど、一貫した取組を行っていくことです。

問5-1 小中一貫教育の取組を行うことについて、どのように思いますか。（1つ選択）

1. 必要であると思う
2. どちらかといえば、必要であると思う
3. どちらかといえば、必要ではないと思う
4. 必要ではないと思う
5. 分からない

問5-2 「問5-1」において、そのように回答した理由について、お考えに近いものを教えてください。（当てはまるもの全て選択可）

1. いわゆる「中1ギャップ」(※1)の解消のため
2. 異学年交流の充実のため
3. 継続的な生徒指導充実のため
4. 学習の方法が一貫することで、学力向上につながるため
5. 中学校の目新しさがなくなってしまうため
6. 小学生が中学生からの影響を受けすぎてしまうため
7. 固定的な人間関係が9年間続いてしまうため
8. 小学校卒業の達成感が失われてしまうため
9. その他（\_\_\_\_\_）

※1 小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活へ移行する段階で、不登校等の生徒指導上の諸問題につながっていく事態など

問5-3 本市において、小中一貫教育をどのように実施したら良いか、お考えに近いものを選択してください。（1つ選択）

1. 全小中学校が一斉に実施する
2. モデル事業として一部の小中学校で実施し、段階的に実施校を拡大する。
3. 「小中連携」で十分であるため、実施する必要はない。
4. その他（\_\_\_\_\_）

## Web アンケート調査票（教員用）

### 問6 新しい学校づくりについてお聞きします。

問6-1 放課後や学校が休みの日に、学校をどのように使ってもらえると、地域の方にとって便利であると思いますか。（当てはまるもの全て選択可）

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 地域の人が気軽に集える場所   | 2. スポーツができる場所        |
| 3. 生涯学習活動ができる場所    | 4. 読書ができる場所          |
| 5. インターネットが使用できる場所 | 6. 演奏や演劇などを発表できる場所   |
| 7. 絵画や作品などを展示できる場所 | 8. 公園のように友達や家族と遊べる場所 |
| 9. 勉強ができる場所（自習室など） |                      |
| 10. その他（ _____ ）   |                      |

問6-2 本市では、市内全小中学校を「コミュニティ・スクール」として、地域の人々が学校と協働・連携して子供の成長を支え、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいます。今後、この取組の更なる充実を図るために、学校が他の公共施設と一緒にする場合（施設の複合化）、どのような公共施設との相性が良いと思いますか。（3つまで選択可）

- |                 |        |           |           |
|-----------------|--------|-----------|-----------|
| 1. 支所・出張所       | 2. 図書館 | 3. 公民館    | 4. 地域の集会所 |
| 5. 文化施設         | 6. 児童館 | 7. スポーツ施設 |           |
| 8. その他（ _____ ） |        |           |           |

### 問7 学校の再編についてお聞きします。

問7-1 市内小学校には1学年1クラスの小規模な学校がある一方で、1学年5クラスの大規模な学校があり、学校規模に偏りが生じています。市内中学校でもこのような傾向があります（資料2ページ参照）。

この偏りを解消するため、学校再編（※1）により法律で定める標準程度（※2）に学校規模を適正化し、一定規模の集団のもとで、多様な人々と協働しながら、たくましく生きる子供を育成することについて、あなたはどのように思いますか。（1つ選択）

※1 通学区域を見直すことや、学校統廃合により通学区域を見直すこと。

※2 小学校は1学年2～3クラス、中学校は1学年4～6クラス。

1. 必要であると思う
2. どちらかといえば、必要であると思う
3. どちらかといえば、必要ではないと思う
4. 必要ではないと思う
5. 分からない

## Web アンケート調査票（教員用）

問7-2 「問7-1」で回答した理由を教えてください。（自由記述）

問7-3 学校再編を検討する場合には、どのような点に配慮すべきと思いますか。  
（3つまで選択可）

1. 子供たちの通学（時間・距離・方法）と安全確保
2. 子供たちの人間関係づくりや心身の負担軽減
3. 魅力的な学校教育の実施や教育環境の整備
4. 再編する学校の子供たち同士の事前交流
5. 学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策の提示
6. 避難所機能の存続・充実
7. 学校を拠点とし、地域住民が必要なサービス機能の整備（複合化）
8. 保護者・地域住民・学校関係者等との十分な協議と丁寧な説明
9. その他（\_\_\_\_\_）

**問8 「子供たちのための新しい学校づくり」について、ご自由に意見をお願いします。**

アンケートは以上となります。  
ご協力いただきまして、ありがとうございました。

# 「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告【概要】

1人1台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、新しい時代の学校施設の在り方を議論

## 第1章 新しい時代の学びの姿

### (1) 社会情勢の変化

⇒社会の在り方が劇的に変わる「Society 5.0時代」の到来  
⇒新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

### (2) 「令和の日本型学校教育」の姿

⇒中央教育審議会において、新しい時代の初等中等教育の在り方を検討  
⇒教育再生実行会議において、ポストコロナ期における新たな学びの在り方を検討

学校のICT環境が整備され、1人1台端末環境のもと、全ての生徒たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

### (3) 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた改革の方向性

- ・新学習指導要領の着実な実施
- ・9年間を見通した義務教育の在り方
- ・学校における働き方改革の推進
- ・地域社会や関係機関等との連携・協働
- ・GIGAスクール構想、ICTの活用
- ・多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応
- ・少人数による指導体制の整備

## 第2章 学校施設の課題

### (1) 新しい時代の学びへの対応の必要性

● **ポストコロナ時代における学校施設という実空間の役割**  
⇒児童生徒にとって安全・安心な居場所を提供するという福祉的機能、社会性・人間性を育む社会的機能を有するなどの学校の持つ役割・在り方を再認識  
⇒ポストコロナ時代において、子供たちがともに集い、学び、遊び、生活する学校施設という実空間の価値を捉え直す必要

### ● 学びのスタイルの変容への対応

⇒ICTの活用などにより、学級単位で一つの空間で一斉に黒板を向いて授業を受けるスタイルだけでなく、学びのスタイルが多様に変容していく可能性が拡大  
⇒空間・時間を超えて、様々な学習リソースに非同期にアクセスして学ぶことができるなど「非同期・分散」した学びのスタイルが広がり、これまでの「同期・集合」した学びのスタイルと往還する場面が展開されていく可能性も拡大

### (2)～(4) 学校施設等における現状と課題

- ・これまでの学校施設の計画、教室面積、多目的スペース、空調設備の整備状況 等
- ・防災・減災、国土強靱化、耐震対策・老朽化した施設の実態、維持管理等
- ・国・地方の財政状況、適正規模・適正配置等の実態、複合化・集約化の状況 等

## 第3章 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方

新しい時代の学びを実現する学校施設の姿（ビジョン）

### Schools for the Future

「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する

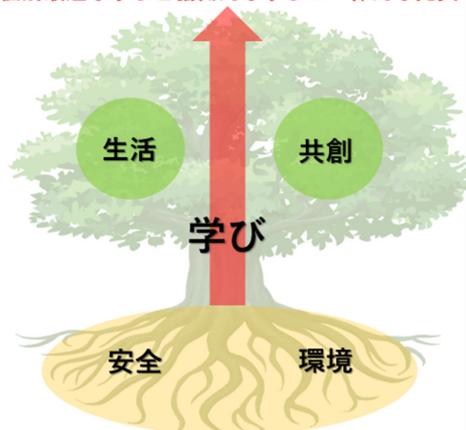
#### 「未来思考」の視点

- ① 学校は、教室と廊下それ以外の諸室で構成されているものという**固定観念から脱し、学校施設全体を学びの場として捉え直す**。廊下も、階段も、体育館も、校庭も、あらゆる空間が学びの場であり、教育の場、表現する場、心を育む場になる。
- ② 教室環境について、**単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な活動に柔軟に対応していく視点（柔軟性）**をもつ。
- ③ 紙と黒板中心の学びから、1人1台端末を文房具として活用し多様な学びが展開されていくように、学校施設も、**画一的・固定的な姿から脱し、時代の変化、社会的な課題に対応していく視点（可変性）**をもつ。
- ④ どのような学びを実現したいか、そのためにどんな学び舎を創るか、それをどう生かすか、**関係者が、新しい時代の学び舎づくりのビジョン・目標を共有する**。

## 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（5つの姿の方向性）

### 【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

全ての生徒たちの可能性を引き出す、  
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



新しい時代の学び舎として目指していく姿

「未来思考」をもった上で、「全ての生徒たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて、**これからの新しい時代の学び舎として目指していく姿**を示す。

新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮するものとして、その中心となる「幹」に『**学び**』を据え、その学びを豊かにしていく「枝」として『**生活**』『**共創**』の空間を実現する。

また、新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進していく「根」として『**安全**』『**環境**』の確保を実現する。

#### 学び

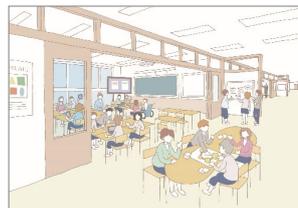
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、**柔軟で創造的な学習空間を実現**

⇒1人1台端末環境等に対応した机を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備  
⇒個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備  
⇒教職員のコミュニケーション・リフレッシュの場（ラウンジ）、映像編集空間（スタジオ）の整備

（教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例）



1人1台端末環境等に対応したゆとりのある教室の整備



多目的スペースの活用による多様な学習活動への柔軟な対応



ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用

#### 生活

新しい生活様式を踏まえ、**健やかな学習・生活空間を実現**

⇒居場所となる温かみのあるリビング空間（小教室・コーナー、室内への木材利用）  
⇒空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化

#### 共創

地域や社会と連携・協働し、**ともに創造する共創空間を実現**

⇒地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出  
⇒地域の実情等に応じた他の公共施設等との複合化・共用化等

### 【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

#### 安全

子供たちの生命を守り抜く、**安全・安心な教育環境を実現**

⇒老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保  
⇒避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化

#### 環境

脱炭素社会の実現に貢献する、**持続可能な教育環境を実現**

⇒屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を推進  
⇒環境や地域との共生の観点から学校における木材利用（木造化、室内利用）を推進

# 新しい時代の学びを実現する空間イメージ例（未来思考の視点を含む）

これからの学校施設は、新しい時代の学びを実現していくことを基本とし、それらを具体化する施設環境を創造していく



**学び**  
単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるような、創造的な空間に転換していく姿



**学び**  
学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせ、読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」としていく姿



**学び**  
教室と連続する空間も活用し、高機能のコンピュータ室を専門的で高度な学びを誘発する「デザインラボ」としていく姿



**学び**  
映像編集やオンライン会議のためスタジオ、情報交換や休息ができるラウンジなど、円滑に業務を行える執務空間としていく姿



**生活**  
木材を活用し温かみのあるリビングのような空間の中で、壁面の工夫やベンチ等を配置し、豊かな学び・生活の場としていく姿



**共創**  
地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展開できる共創空間としていく姿



**安全**  
長く使い続けることができるように安全性を確保し、子供たちの学び・生活の場、地域のコミュニティの拠点としていく姿



**環境**  
省エネルギー化や再生可能エネルギーを導入等を積極的に進め、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たしていく姿

## 第4章 学校設置者における推進方策

今後も増加する膨大な老朽化施設の現状等を踏まえ、教育環境向上と老朽化対策を一体的に図る長寿命化改修等を積極的に推進していくことをはじめとした具体的な方策を提言

### （1）長寿命化改修を通じた、新しい時代の学びを実現する教育環境向上と老朽化対策の一体的な推進

- 安全・安心な教育環境を確保しつつ、新しい時代の学びを実現していくため、長寿命化改修等を通じ、教育環境向上と老朽化対策の一体的な整備を積極的に推進

### （2）首長部局と協働した、中長期的視点からの計画的・効率的な整備の推進

- 教育委員会と、まちづくり部局や財政部局、環境部局、防災部局等の首長部局との横断的な検討体制を構築
- 中長期的な将来推計を踏まえ、計画的・効率的な施設整備を推進（将来変化に柔軟に対応できる施設、将来的な他用途への転用、複合化・共用化等）

### （3）多様な整備手法等の活用と、施設整備と維持管理の着実な推進

- PPP/PFI手法を含め、民間活力を活用した施設整備・維持管理を積極的に推進
- 計画的に施設の点検・修繕等を行い、不具合を未然に防止する「予防保全」型の管理へと転換

### （4）学校関係者等の参画による豊かな学びの環境整備の推進

- 学校施設の計画・設計において、学校設置者と設計者だけでなく、新しい学びの担い手である学校の教職員など関係者が参画した施設づくりを促進、プロポーザル方式の導入推進等

## 第5章 国における推進方策

新しい時代の学びを実現する学校施設の整備を着実に進めるための具体的な方策を提言

### （1）新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性（目標水準）の提示

- 2020年代を通じて目指す、新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性を目標水準として整理

### （2）教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の事例収集・分析

- 長寿命化改修等を通じ、教育環境向上と老朽化対策を一体的に整備している好事例について、ボトルネックとなる課題の解決策とあわせて積極的に周知

### （3）学校施設整備のための財政支援制度の見直し・充実

- 安定的・継続的な予算確保
- 国庫補助単価を含めた財政支援制度の更なる見直し・充実

### （4）新しい時代の学びを実現する学校施設整備の技術的支援の充実

- 学校施設整備・活用のためのプラットフォームを構築（事例・ノウハウの発信、専門家派遣等）
- 先導的モデル研究等を通じた新たな学校施設モデルの提示

### （5）学校施設整備指針の改訂

### （6）普及啓発、適切なフォローアップと更なる調査研究等の実施

子供たちにとって「明日また行きたい学校」となるために、そこに集う人々にとっても「生き生きと輝く学校」となるために